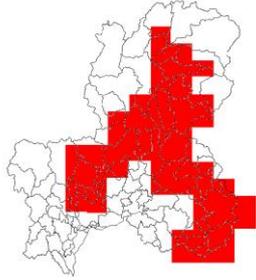


アオフタバラン	<i>Neottia makinoana</i> (Ohwi) Szlach.	準絶滅危惧
		ラン科
選定理由	園芸目的の採取圧がある。	写真(後藤常明) 
形態の特徴	高さは10-20cm。青緑色の葉が茎の下部に開出して付く。葉の先端は鈍頭。葉の上面に腺毛がある。白斑が出ることもある。花は緑色で唇弁だけが6-7cmと長くて先端が浅く2裂し、上向きに反る。花期は6-8月。	
生態的特徴	山地の針葉樹林下や湿地に生える。	
分布状況	本州、九州、四国に分布する。岐阜県では飛騨地方および美濃地方中東部に分布する。	
減少要因	園芸目的の採取による。	
保全対策	採取の禁止。分布情報を公表しないことが望ましい。	
特記事項		
参考文献		

文責:山崎玲子